

案

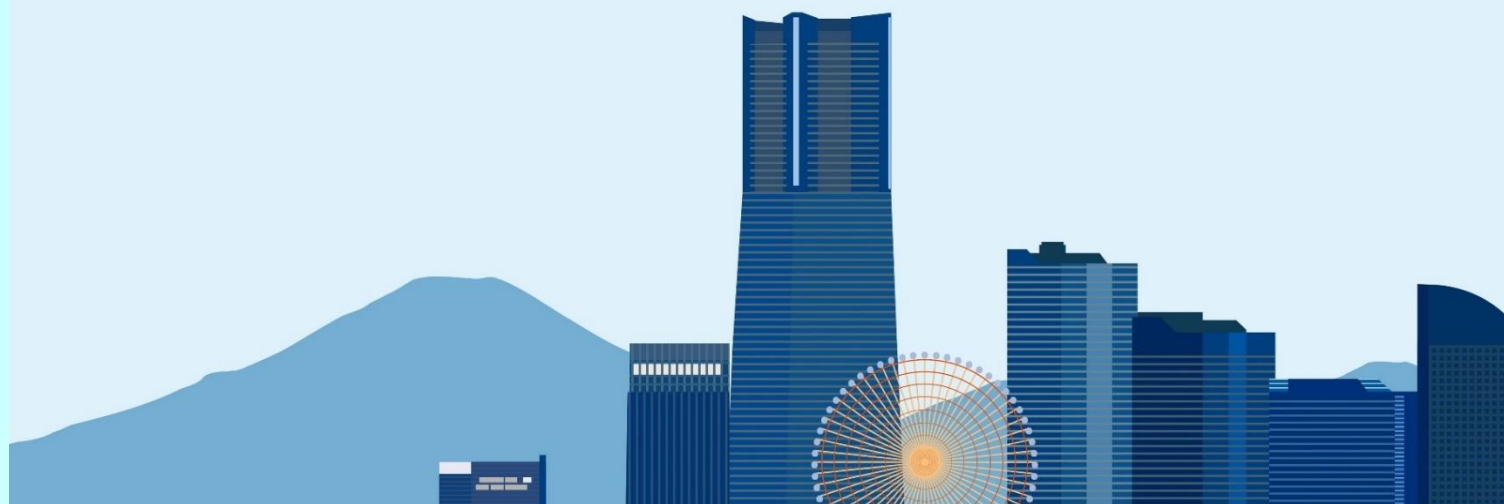
第39回全国医療法人経営セミナー

2024年11月16日(土)(前日 15日(金)夕刻より前夜祭)

横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3階 鳳翔

横浜で、お待ちしております!

今日的医療経営の地平線



横浜みなとみらい 画像提供 stella / PIXTA

主催 一般社団法人日本医療法人協会・日本医療法人協会神奈川県支部
共催 (公社)神奈川県病院協会・(公社)横浜市病院協会
・(公社)川崎市病院協会・(公社)相模原市病院協会

後援 (公社)日本医師会・(一社)日本社会医療法人協議会
・(以下予定)日本病院会・全日本病院協会・日本精神科病院協会、
神奈川県内医療関係団体ほか

案

第39回全国医療法人経営セミナーの計画概要（2024年2月時点）

- 1 日時 2024年（令和6年）11月16日（土） 9:00 ～ 17:10
（前日15日（金） 17:30～19:40 前夜祭）
- 2 会場 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3階 鳳翔
- 3 定員 300名（予定）
- 4 セミナーのテーマ 「今日的医療経営の地平線」

パンデミックとなった新型コロナの嵐がヤマ場を超えつつある中で、2024年の年明けは、能登半島地震の大きな揺れに始まりました。東日本大震災以降、最大の被害をもたらした自然災害は、被災地での医療のあり方だけでなく、改めて我々医療に関わる者に対して、危機時の医療や人口減少地域での医療提供のあり方を問うものとなりました。

一方、かつて2025年問題といわれていた様々な課題が、次から次へとのかかるような影を落としながら過ぎていきます。課題は解決したわけではなく、より深刻な状況が続いています。また、トリプル改定となった2024年社会保険診療報酬改定では、本体が0.88%の引き上げとなりましたが、「全世代型社会保障構築」の名の下に、医療費は、今後も、少子化対策や、防衛費予算の確保などとせめぎあう状況が続きます。診療報酬改定の6月施行を踏まえて、新たな地平線を臨むことになるでしょう。

さらに、2023年6月に公表された2022年の出生数（概数）は、77万余人で、統計を取り始めた1899年以降、初めて80万人を割って減少傾向はさらに続きます。今まさに、すべての働き手が減り続ける、我が国がこれまでに経験したことのない高齢・少子社会の急坂の途中にあります。

我々医療関係者は、パンデミックや災害など医療危機事態への対応が重なる中で、働き方改革と地域医療の持続的提供を両立させ、医療人材や医療資源の偏在を克服しつつ、それぞれの地域に相応しい地域医療構想の推進を図るといふ、極めて困難かつ単一の医療機関では解決できない多くの課題に直面しています。

将来を見通し、問題意識を持ってお互いの連携を一層強めることで、様々な課題に立ち向かい、負の遺産ではなく、明るい未来を展望できる医療経営を次の世代へと引き継いでいきたいと思えます。そのことが、持続的、発展的に国民に良質の医療を提供することにつながるのだと信じています。

さあ、開国の地、横浜に集い、医療経営の地平線を見通して見ませんか。

前夜祭（予定）

- (1) 日時 2024年（令和6年）11月15日（金） 17:30 ～ 19:40
- (2) 会場 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3階 鳳翔
- (3) 定員 150名

案

5 セミナープログラム（来賓・講師等は今後依頼する候補案 テーマも未調整の案）

8:30～	受付開始			敬省略
9:00～ 9:40	開会セレモニー 総合司会 挨拶 " 来賓挨拶	医療法人愛仁会太田総合病院 第39回全国医療法人経営セミナー 一般社団法人日本医療法人協会 前内閣総理大臣ビデオメッセージ 神奈川県 横浜市 全国団体の会長（4病協代表） 公益社団法人神奈川県医師会	理事長 実行委員長 会長 衆議院議員 知事 市長 会長 会長	太田 史一 新納 憲司 加納 繁照 菅 義偉 黒岩 祐治 山中 竹春 〇〇〇〇 菊岡 正和
9:50～ 10:30	特別講演Ⅰ	「厚生労働省」の地平線 講師 厚生労働省 座長 川崎市病院協会	医政局長 会長	浅沼 一成 内海 通
10:30～ 11:20	特別講演Ⅱ	「〇〇における日本医師会の取組み」 講師 日本医師会 座長 横浜市病院協会	〇〇 会長	〇〇〇〇 松井住仁
11:20～ 12:00	特別講演Ⅲ	「〇〇〇〇 地域包括ケア」の地平線 講師 日本病院会 座長 相模原市病院協会	会長 会長	相澤 孝夫 土屋 敦
12:00～	13:00	ランチョン・セミナー		
13:00～ 13:50	特別講演Ⅳ	「地域医療構想の地平線」 講師 国際医療福祉大学大学院 座長 特定医療法人社団鵬友会	教授 理事長	石川・ベンジ ャミン・光一 池島 秀明
13:50～ 14:40	特別講演Ⅴ	「〇〇〇〇医療DXの地平線」 講師 東日本税理士法人 座長 医療法人社団 景翠会	所長 理事長	長 英一郎 富田 春郎
14:40～	15:10	コーヒー・ブレイク		
15:10～ 15:40	シンポジウム 基調講演	「災害医療の最前線で（仮）」講師 社会医療法人財団薫仙会恵寿総合病院 座長 日本医療法人協会神奈川県支部	理事長 支部長	神野 正博 新納 憲司
15:40～ 17:00	シンポジウム 課題提起（仮） 5人による討論 「我々はいかに医療危機と闘うか」	1 神奈川県・藤沢市民病院 （医療危機対策担当） 2 一般社団法人愛知県病院協会 （日本医療法人協会会長代行） 座長 神奈川県病院協会	理事・DMAT 統括責任者 会長 会長	阿南 英明 伊藤 伸一 吉田 勝明
17:00～ 17:10	閉会式	次回開催地挨拶 日本医療法人協会〇〇県支部 閉会挨拶 日本医療法人協会神奈川県支部	支部長 副支部長	〇〇 〇〇 宮川 政久

案

今後の予定

協賛等募集 2024年4月～
セミナー等 参加申込み 8月～

後援依頼中

全日本病院協会・日本病院会・日本精神科病院協会・

日本医業経営コンサルタント協会

後援依頼予定

県内 各地区病院協会・神奈川県精神科病院協会

神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市

神奈川県医師会ほか、県内 医療関係団体

最新の情報は、神奈川県病院協会ホームページをご覧ください。

実行委員会事務局 神奈川県横浜市中区富士見町3-1
公益社団法人神奈川県病院協会事務局内 045-242-7221
<https://www.k-ha.or.jp/xxxx>